

令和8年度 教育目標

(1) 教育目標

○ 学校の教育目標

確かな学びと豊かな心で未来を拓く児童・生徒を育てる

- ア 自ら学ぶ力、基礎的な学力を育てる。
- イ 自分の夢や希望に向かって、挑戦する態度を育てる。
- ウ 互いを尊重し、人と豊かにかかわる力を育てる。
- エ 健やかな体を作り、安全に生活する力を育てる。

○ 小学部 学部目標(普通学級)

- ア 学習に対する興味・関心を広げ、分かること・できることを増やし、学ぶ意欲を育てる。
- イ 自ら考え、選択や意思表示をしながら、前向きに挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 適切な意思表出手段を身に付け、他者に対する思いやりや共に活動しようとする態度を育てる。
- エ 基本的生活習慣及び運動習慣を身に付け、健康で安全に生活する力を育てる。

○小学部 学部目標(重度・重複学級)

- ア 学習に対する興味・関心を広げ、周囲の大人と一緒にできることを増やし、学ぶ意欲を育てる。
- イ 周囲の大人と一緒に、選択や意思表示をしながら、挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 心理的な安定を図り、適切に意思表出をする経験を重ね、他者と共に活動しようとする態度を育てる。
- エ 周囲の大人と一緒に身近処理や運動に取り組み、健康で安全に生活する力を育てる。

○中学部 学部目標(普通学級)

- ア 学習で身に付けた力を生活に生かし、役割を果たそうするとともに、自ら学ぶ意欲を育てる。
- イ 自己選択・自己決定をしながら、よりよい生活を目指して挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 意思表出手段を確立し、規範意識を高め、人権尊重と他者と協働する態度を育てる。
- エ 基本的生活習慣や運動習慣の確立を目指し、心身の変化に応じた、健康で安全に生活する力を育てる。

○中学部 学部目標(重度・重複学級)

- ア 基本的・基礎的な学習の定着を図り、興味・関心を広げ、自ら学ぶ意欲を育てる。
- イ 周囲の支援を受けて自己決定や意思表示をする経験を重ね、挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 意思表出手段を身に付け、ルールやマナーを守り、他者と共に活動しようとする態度を育てる。
- エ 基本的生活習慣等の定着を図り、周囲の支援を受けながら、健康で安全に生活する力を育てる。

○ 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 児童・生徒一人一人に応じた将来の自立と社会参加に向けた主体的な取り組みをするという観点に立ち、そのもてる力と可能性を最大限に伸ばす指導を行う。
- イ 学校・家庭・地域との連携を大切にし、学校生活や体験活動等の場面を通して互いに人格を尊重し思いやりの心を育てる。

- ウ 特別支援学校外部専門員と連携し、障害の特性や学習の習得状況把握に関するアセスメントを行い、児童・生徒一人一人の自己決定を大切にした授業づくりに向けた助言を受け、授業改善を進める。
- エ キャリアパスポートの趣旨を踏まえ、学校生活支援シート(個別の教育支援計画)を、進級・進学時の引継ぎのツールとして活用し、医療や福祉等の関係機関との相談・支援体制の構築に組織的に取り組むとともに、学校と家庭が連携して将来の自立や地域生活の充実と関連付けた指導を展開する。
- オ 保護者と共通理解を図り、学校生活支援シート(個別の教育支援計画)や個別指導計画を策定することで、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかで専門的な指導に努める。また、学習の評価を具体的かつ客観的に行い、指導の改善を図る。
- カ 教職員の人権感覚を高め、体罰やいじめの根絶、行方不明や負傷等の学校事故の未然防止、差別意識の解消、不登校、児童虐待やヤングケアラー、非行等の諸問題への対応を適切に行う。
- キ 地域における特別支援教育の推進のため、教育・福祉・医療等の関係機関とのネットワークの構築や支援会議等の体制の整備を図り、特別支援教育に関するセンター的機能を発揮する。
- ク 学校運営連絡協議会及び学校評価委員会の提言をもとに、保護者や地域住民からの評価を学校運営に反映し、開かれた学校づくりを推進するとともに、教員の資質向上・意識改革を図り、専門性の向上を図る。
- ケ 児童・生徒一人一人の学習状況を多角的に評価するため、各教科の目標に準拠した学習評価を行う。日常的に学習の記録を作成し、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点による授業評価を行い、個別指導計画の評価と改善、さらに教育課程編成の改善と充実に生かす。
- コ 障害のある生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援するという観点に立ち、中学部における作業学習の充実と推進を図る。